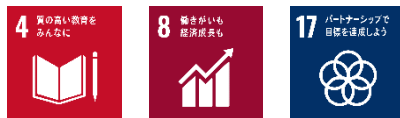


# News Letter

ニュースレター



2026年6月24日



格付投資情報センターによる「顧客本位の金融販売会社評価」の取得について

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、株式会社格付投資情報センター（以下、「R&I」）による「R&I 顧客本位の金融販売会社評価」において、「FD マーク※」を取得いたしましたのでお知らせします。

なお、当評価の取得は東海三県（愛知、岐阜、三重）に本店を置く地方銀行で当行のみとなります。

当行は今後も、お客さまの安定的な資産形成の実現に向け、中長期的な視点に立った資産運用をご提案してまいります。



※ 「顧客本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー：FD）」の実践において特に優れた取り組みと実績を示している金融機関に対して R&I が付与するものです。  
フィデューシャリー・デューティーとは、お客さまの意向に沿った資産形成や資産運用の実現に向けて、常にお客さま本位で考え行動し適切な金融商品やサービスを提供することです。

## 記

### 1. 本評価の概要

「R&I 顧客本位の金融販売会社評価」は、投資信託等販売業務を行う銀行・証券会社などの金融事業者が、いかに金融商品販売において「お客さま本位の業務運営」を行っているかについて、その取組方針や取組状況を R&I が中立的な立場で評価するものです。

このたび当行は、本評価において、4年連続で評価を取得しました。

### 2. 評価のポイント（R&I の評価レポートより）

- 「未来創造業」宣言のもと、マネジメント層が積極的に関与しながら顧客本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー：FD）に関する方針・アクションプランを策定し、推進している。
- 組成会社としての態勢を整備するなど、プロダクトガバナンスの強化を図っている。
- 投資信託の複数銘柄保有者割合は増加傾向にあることから、「コア・サテライト投資」提案が浸透しつつあると考えられる。

「R&I 顧客本位の金融販売会社評価」（以下「本評価」）は、投信販売業務を行う金融事業者の「顧客本位の業務運営」に関する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。R&I が本評価を行うに際して用いた情報は、R&I がその裁量により信頼できると判断したものではありません。R&I は、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。また、その正確性及び完全性につき R&I 等が保証するものではなく、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。本評価に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R&I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

以上